



三戸町の夏の風物詩「さんのへ夏まつり」での「11ぴきのねこ灯籠」



「さんのへ秋まつり」武者絵巻を題材とした山車が町内を練り歩く



2019年10月から運航されている「11ぴきのねこラッピング列車」 三戸城跡城山公園で開催される「さんのへ春まつり」



豊かな自然に恵まれた三戸町では、季節に合わせて四季折々の祭りが行われます。春は桜の名所、城山公園で「さんのへ春まつり」が開催、園内に咲き誇る桜と居城の名残りが調和した景色を楽しめます。夏は「さんのへ夏まつり」が開催され、町中心部の目抜き通りにたぐさんの「11ぴきのねこ灯籠」が並べられ、夜の町を「11ぴきのねこ」達が明るく彩ります。秋は町一番のおおきな祭り「さんのへ秋まつり」。かつての城下町をきらびやかな人形山車が練り歩きます。この祭りは青森県南から岩手県にかけて共通する山車まつりの原型に近いもので、古くからの伝統を色濃く残した祭りです。冬は歴史ある行事「三戸名物元祖まける日」が開催され、各商店が日ごろの感謝の気持ちを込めて買い物客に「安くする」「おまけをする」といった「まける」サービスが行われます。

また、古い店舗や建物が多く残ることから、昭和レトロ、大正ロマンの町として、これら歩く



【名久井岳と三戸城跡城山公園】



四季折々の祭りと11ぴきのねこ「三戸町」

三戸町

青森県の南端に位置し、南は岩手県、西は秋田県に接しています。

町を流れる馬淵川や熊原川沿いに縄文時代から古代にかけての遺跡が多く見られ、戦国時代には南部氏の居城である三戸城が築かれた城下町で、歴史と伝統が感じられる街です。

町のメインストリートは、かつての奥州街道であり、明治天皇の地方巡幸のほか、幕末から吉田松陰、木戸孝允や大隈重信らが通ったとされており、青森・岩手・秋田方面にアクセスする交通の要衝として栄えてきました。

現在、町出身の漫画家故・馬場のぼる氏の作品「11ぴきのねこ」によるまちづくりを進めており、町のいたるところで「11ぴきのねこ」達に会うことができます。



2012年から「11ぴきのねこ」石像が設置され、2020年には全11体が揃う

「街歩き観光」にも力を入れています。



問合せ先

三戸町まちづくり推進課
電話0179-20-1117

「三戸街歩き」では町中心部をガイドが説明しながら歩く。写真は、大正時代に建築された「佐瀧別邸」